

7月のデイサービスでは七夕飾りをつくりました。短冊には皆さんの願いが記され、ひとつひとつの願いが叶って行くように支援に取り組んで行きたいと思いました。また、障がい者デイサービスでは手作り梅ジュースが完成し、夏場の水分補給の促進につなげたいと思います。



災害時の対応について(確認)

昨年は「南海トラフ地震臨時情報」が発表されるということがありました。また、気候変動が進んでいる中で大雨等に関する気象情報をリアルタイムで取得できるようにもなっています。これらの情報を活かすためには普段からの防災対策の確認が重要となります。下表では災害時の基本的な対応を示させて頂きますのでご確認頂き、より良い防災対策につながるようにご協力を賜りたいと思っております。

	デイサービスでの対応	注意して頂きたいこと
地震 	いつ、どのような地震が発生するか予測が出来るものではなく、フロアで過ごしている時・送迎中・入浴中など様々な場面で地震に遭遇することを想定して、身の守ることが出来るようにと考えています。揺れが治まってから情報収集を行い、地域の被災状況にに応じて、出来る限り安全にご家族等への引き渡しを行うことを予定しております。 (引き渡し完了後、デイサービス職員は入所施設や福祉避難所の支援活動に向かうようになります。)	まずは身を守るために姿勢を低くして、物につかまるなど転倒を防ぐようにしましょう。また、落下物によるケガを防ぐためテーブルの下に身を隠す、座布団などで頭部を保護するようにしましょう。火の元の確認も大切です。
風水害 	自然の力は強く、予想を上回る被害が出る場合があります。ハザードマップでデイサービス及び送迎ルート等の災害想定を確認していますが、気象情報から危険性など考慮して営業中止や時間短縮をさせて頂く事があります。その際には出来る限り早めのご連絡を行うようにしますが、中止となった時の過ごし方、短縮時の対応を検討頂いておくなどご協力をお願い致します。	高齢者や障害のある方は警戒レベル3で避難開始とされています。避難とは避難所へ行くことではなく「安全な場所で過ごせる準備をすること」とされており、危険場所の確認や停電や断水への備えを普段から行っておくことが大切です。
火災 	デイサービスでは消防計画を作成し、火災が発生しないようにするとともに、万が一火災が発生した時のために、利用者皆様にもご協力を頂き避難誘導訓練を行っています。	家庭では電気コンセント・ほこり・湿気が原因となるトラッキング現象による火災もありますのでお部屋の整理整頓も火災予防につながります。

運営推進会議(家族懇談会)の開催

8/5(火)にご家族等を事業所に招いての会議を予定しました。今回は菊川市危機管理課様にご協力を頂き、ダンボールベッド、パーティションの設営訓練を行い、避難所での過ごし方について体験をとおして考える機会にしたいと思っております。